

HELLO! GEO WORLD

観光に関するお問い合わせ

- 鹿児島中央駅総合観光案内所 ☎099-253-2500
- 鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所 ☎099-253-2500
- 桜島観光案内所・桜島コンシェルジュセンター ☎099-293-4333
- 鹿児島市観光交流センター ☎099-298-5111
- 鹿児島市観光案内所(天文館) ☎099-813-7604
- 鹿児島島まち歩き観光ステーション ☎099-208-4701
- 垂水市観光協会 ☎0994-32-1111
- 道の駅たるみず「湯っ足り館」 ☎0994-34-2237
- 道の駅たるみずはまびら「たるたるばあく」 ☎0994-45-5727
- 猿ヶ城溪谷 森の駅たるみず ☎0994-32-9601
- 始良市観光協会 ☎0995-67-6052
- 始良市蒲生観光交流センター ☎0995-52-0748

公共交通機関

- JR九州案内センター ☎099-256-1585
☎050-3786-1717
- 南国交通 ☎099-255-2141
- 鹿児島交通 ☎099-247-2333
- 鹿児島交通: 始良市・鹿児島市方面 ☎099-254-8970
- 鹿児島交通: 垂水市方面 ☎0994-65-2258
- JR九州バス: 鹿児島支店 ☎099-247-2057
- 鹿児島市交通局: 鹿児島市バス ☎099-257-2117
- 鹿児島市交通局: 鹿児島市電 ☎099-257-2116
- さんふらわあ ☎0120-3268-56
- 桜島フェリー ☎099-293-2525
- 垂水フェリー: 鴨池港 ☎099-256-1761
- 垂水フェリー: 垂水港 ☎0994-32-0001

鹿児島への交通アクセス

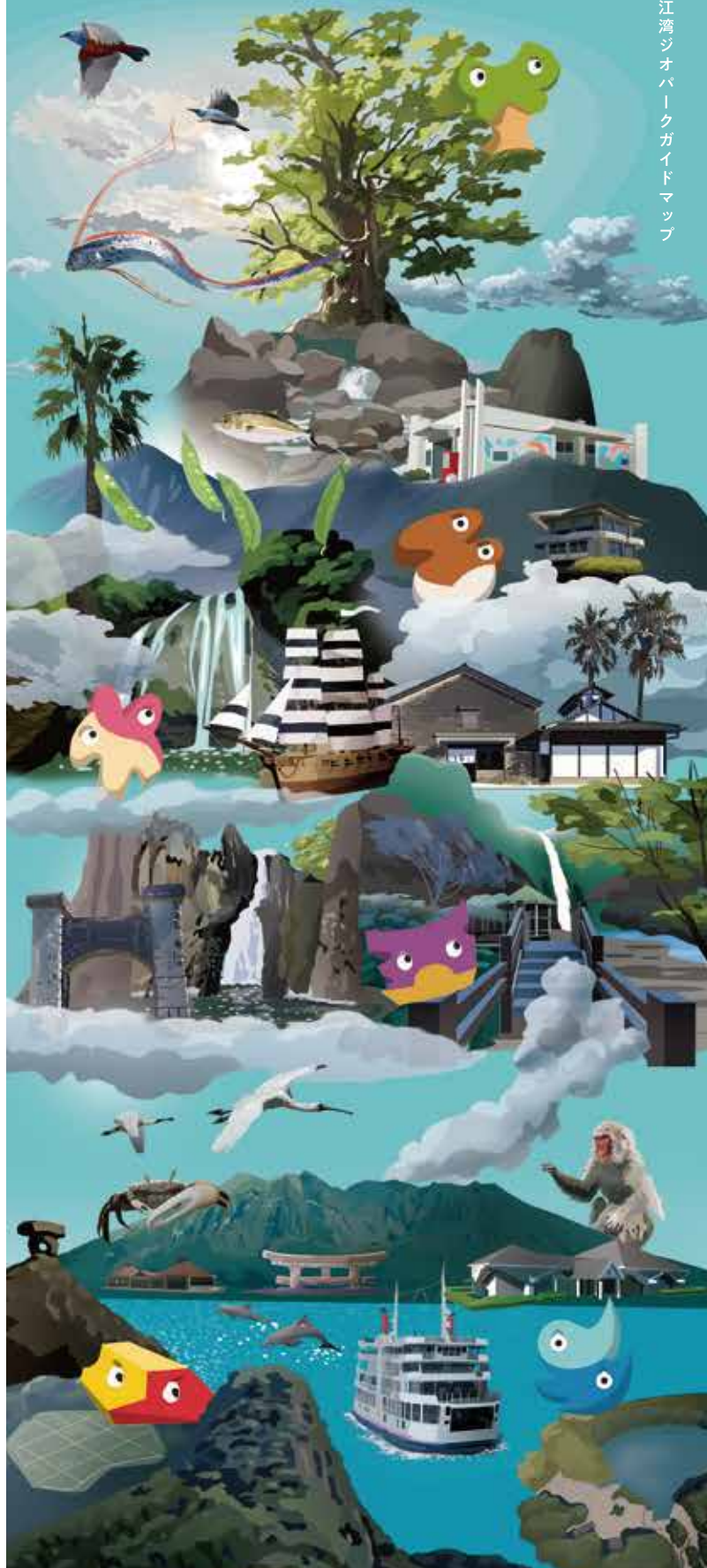


鹿児島での交通アクセス



問い合わせ先
桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 事務局
 (鹿児島市世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課内)
 〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
 TEL: 099-216-1313 FAX: 099-216-1320

桜島・錦江湾ジオパーク(公式サイト)
<https://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp/>



ディープに楽しむ! プログラム【要予約】

※利用時間、料金等はあらかじめご確認ください。(2023年3月現在)



火山博士とめぐる 桜島ブラリ旅

火山学博士がお客様のバスに同行し、桜島について知りたいことを深掘りできるツアー。基本コースほかオーダーメイドコースも可。

- 実施期間/要事前問合せ(2カ月前までの予約なら日程調整可)
- 時間/2時間(9時~17時/延長応相談)
- 定員/1~40名(バス1台まで/車両の手配はいたしません)
- 料金/55,000円/博士1名(税込)
- 問い合わせ先/NPO法人桜島ミュージアム ☎099-245-2550

キャニオニング

猿ヶ城渓谷の透明度の高い清流を体一つで沢下り。降り注ぐ緑と水のシャワーを全身に浴びる癒し体験を。



- 実施期間/7~9月 ●時間/約2時間 ●定員/2~40名 ●料金/中学生以上6,500円、小学4年生以上6,000円
- 問い合わせ先/猿ヶ城渓谷森の駅たるみず ☎080-9248-1903

シャワークライミング

猿ヶ城渓谷で沢登り。花崗岩の巨岩の上を歩き、清流を渡る冒険を楽しもう。

- 実施期間/通年 ●時間/約2時間
- 定員/4~40名 ●料金/小学生以上4,500円
- 問い合わせ先/猿ヶ城渓谷森の駅たるみず ☎080-9248-1903



7日
前
まで
に
要
予
約

桜島の火山灰で 染体験

桜島の火山灰を使った染料で、手ぬぐいを染めるプログラム。桜島から採れる自分だけの色を持ち帰ろう!

- 実施期間/通年 ●時間/30分
- 場所/桜島ビジターセンター周辺(予約時確認)
- 定員/2~5名(それ以上は要相談)
- 料金/1人2,500円 ●問い合わせ先/温順人島(おんじゅんじんちょう)桜島工房 ☎070-5507-8935



陶芸体験

桜島の灰を活用した陶芸や火山灰アートが楽しめる。旅行の記念やお土産としても人気。

- 実施期間/通年 ●時間/30分~2時間
- 料金/[村山陶芸]陶芸体験1人1,650円~[桜岳陶芸]絵付け体験1人1,650円~火山灰アート体験1人1,650円~
- 問い合わせ先/[村山陶芸] ☎099-293-2322 [桜岳陶芸] ☎099-293-3939

桜島一周見聞録

ミニ番組(火山島の秘話)付きガイド地図。桜島一周サイクリング・ドライブ旅の景色が変わるかも! 大迫力の風景画はお土産にも。

- 実施期間/通年販売
- 場所/桜島ビジターセンターで販売
- 料金/1枚1,000円
- 問い合わせ先/桜島ビジターセンター ☎099-293-2443



マイ足湯を作ろう! 天然温泉堀りセット

温泉が湧き出る桜島の有村海岸を掘って、自分だけのマイ足湯を作ろう! ※温泉堀りグッズ販売のみ・ガイド同行なし

- 実施期間/通年(天候・潮汐により実施日時が限られます。※要事前問合せ)
- 場所/有村海岸(ガイド同行なし)
- 料金/1,100円(セット内容:スコップ×2/オリジナルタオル/温泉堀り指南書)
- 問い合わせ先/桜島ビジターセンター ☎099-293-2443

ここは見逃すな!
「桜島・錦江湾ジオパーク」
~火山と人と自然のつながり~



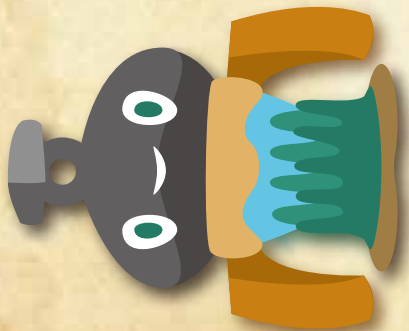
桜島・錦江湾 ジオパーク

ジオパークとは“大地の公園”のこと。つまり、地球をフィールドとして、私たちと大地のつながりのストーリーを、歴史も今も未来もひっくりめて、縦横無尽に楽しんでしまおう! というものです。目の前にそびえる山も青く深い海も広がる森も、何万年の時を経てつくられた大自然のオブジェやアトラクション! ここ「桜島・錦江湾ジオパーク」では、そんな見ごたえたっぷりの絶景やツアー、イベント、体験プログラム、特産品などなど、魅力をいっぱい体感できます。「桜島・錦江湾ジオパーク」を舞台に、思いっきり遊び、学びましょう!



日本ジオパーク認定

始良・鹿児島・垂水にかくされたジオの宝を探そう!

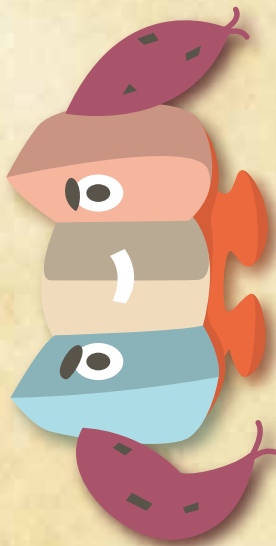


愛称:モマール

AIRA

始良市は、住吉池・米丸マールの爆裂火口、龍門滝、重富海岸の干潟など、多彩な地質・地形の宝庫！始良カルデラ。錦江湾の名前に縁が深い地だよ。

始良市観光協会ホームページ <https://aira-kankou.jp/>

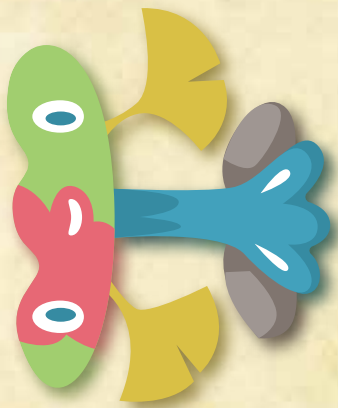


愛称:タロック

KAGOSHIMA

巨大噴火でできた3つのカルデラの恵み・溶結凝灰岩。この石を上手に使うって鹿児島市の石の文化が発展。世界文化遺産にも使われているよ！

かごしま市観光ナビ <https://www.kagoshima-yokanavi.jp/>



愛称:ルミティ

TARUMIZU

地形・地質で遊ぶならアクティビティ充実の垂水市！花崗岩の巨岩に囲まれて猿ヶ城渓谷キャニオニング、雄大な錦江湾でSUPやカヌーも楽しみつくそう。

垂水市役所 <https://www.city.tarumizu.lg.jp/>

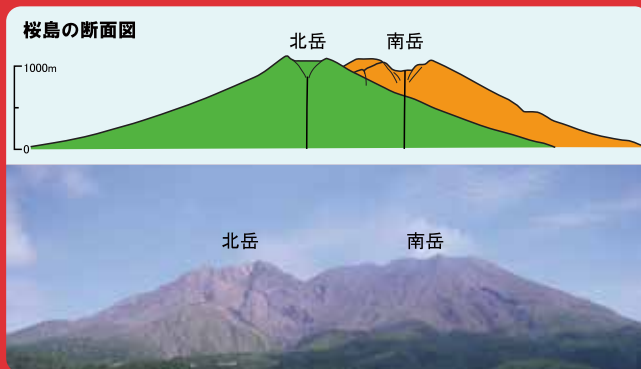


「恋するTarumizu」



シラス台地は桜島の火山灰じゃなかった！

シラス台地は桜島の火山灰が何万年もかけて降り積もってきたと思われがちですが、始良カルテラの巨大噴火によってたった1週間でできたものなのです。垂水市では大迫力のシラスの地層を見ることができます。(上写真)



桜島は2つの火山だった！

桜島は1つの山のように見えますが、実は北岳と南岳という2つの火山が合体しているのです！北岳の方が古く、約26,000年前の桜島誕生から約5,000年前まで活動。その後、火口の位置が南にずれ、約4,500年前から南岳の活動がはじまり、現在まで続いています。その2つの火山が南北に連なったのが桜島。だから、始良市、鹿児島市、垂水市と、どの場所から眺めるかによって桜島の形も違って見えます。いろいろな場所から眺めてみて、好きな形を探してみては？

桜島・錦江湾絶景スポット！

高倉展望台 (始良市)

標高125mの展望台。始良市、錦江湾、桜島を一望できる絶景スポット！夜になると、始良市街の夜景を見ることができます。



道の駅たるみず「湯っ足り館」(垂水市)

足湯につかりながら間近に迫る桜島、波穏やかな錦江湾を見ることができるスポット。道の駅内のレストランや温泉でもゆったり過ごせます。



自然とのつながり

植物の生命力を見よ！ 桜島は天然の博物館だ。

火山の過酷な環境では植物は生きられない！？いえ、桜島の火口近くには火山ガスに強いススキやイタドリ、少し離れるとヒサカキやヤシャブシ、もっと離れるとクロマツやタブノキがたくましく生きています。大噴火のたびに溶岩で埋め立てられ、岩だらけになりますが、そこに植物は、また新しい命を育み始めます。コケ、地衣（ちい）類に始まり、草原ができ、クロマツなどの陽樹、そしてタブノキなどの陰樹が育ち、長い時をかけて森へ。いろいろな時代に溶岩が流れた桜島は森ができるまでの変化の過程を観察できる天然の博物館なのです。

火口近くでも植物は生きている！



昭和・大正といった新しい溶岩の上には植物が少なく、安永・文明など古い溶岩の上には森ができています。

3時代の植生ウォッチング！



安永（1779年）、大正（1914年）、昭和（1946年）と、3時代の溶岩がある有村海岸。木々に覆われた古い溶岩と、クロマツや岩肌が目立つ新しい溶岩の植生の違いをウォッチング！

知ればもっと楽しい！【桜島のオキテ】

桜島をはじめ、鹿児島島の住民たちは、密かにこのオキテを守って暮らしています！鹿児島島をはじめ訪れる人も、リピーターの人も「桜島・錦江湾ジオパーク」を安心して楽しんでいただくために、知ればもっと楽しくなる桜島のオキテをご紹介します！

【その一】 噴火しても、大あわてで逃げないこと。

現在、桜島は日常的に噴火をしています、特に問題なく観光することができます。年数百回の噴火があっても、桜島の麓で住民が普通に暮らしているのを見ても分かりますね。桜島は火口から2km以内が立入禁止区域となっていますが、観光施設等は全て火口から2.5km以上離れているので、安心して観光することができます。



【その二】 火山灰に当たっても、ビックリしないこと。



火山灰は2mm以下の微粒子なので、当たっても痛くありませんし、ケガもしません。ただし、コンタクトレンズの人は目に入ると痛いのでご注意ください。これまでの調査や研究でも桜島の降灰が直接的に健康へ影響を示す結果は出ていませんので、たとえ火山灰が口に入ってもあわてずに。

【その三】 キレイ好きの人は、灰をやり過ぎること。

火山灰が服にかかっても、鹿児島島の人は、パバッと手で払って終わり！でも、汚れるのが気になる場合は、降り終わるまで屋根のあるところでひと休みを。汚れてもOKなら、特に何も対応する必要はありません。火山灰が降る時間は、数分から10分程度、長くても数十分程度。屋根の下や建物の中、車の中がおすすめのやり過ぎスポットです。



【その四】 車でドカ灰に遭遇したら、無理しないこと。

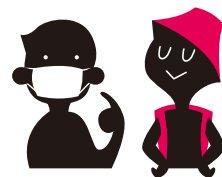


車の運転中に灰が降ってきたら、大雨時の対処と同じく、減速か停車して、降り終わるのを待ちましょう。ただし、火山灰が降るのは風下側の狭い範囲であることが多いので、移動した方が灰を避けられるということも。

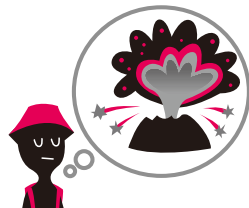
※ドカ灰：「灰がたくさん降ること」

【その五】 灰対策にマスクをしなくても、驚かないこと。

火山灰が降ったときに、口や鼻に入るのをできるだけ防ぎたい！と思ったら、マスクなどを装着して。ただし、地元の人々は、降灰は日常茶飯事なので、火山灰対策の目的でマスクをする人はほとんどいないようです。



【その六】 大噴火があるかもと、心配しすぎないこと。



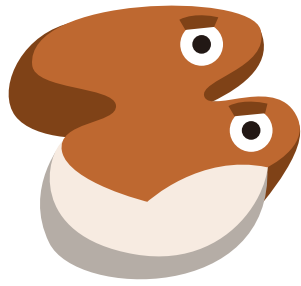
もしも、大正噴火級の大噴火が起こるときは、早ければ数ヶ月前から地盤の変動や地震の頻発などの前兆現象があり、地震のように突然起こることはありません。大正噴火でも、井戸水の水位の低下や、体に感じる地震などの前兆現象がありました。

【その七】 どうしても心配なら、気象庁で調べること。

もしも、桜島で避難が必要な大噴火が予想される場合などは、気象庁が噴火警戒レベル4（避難準備）や噴火警戒レベル5（避難）を発表します。桜島の状況を知りたいときには、気象庁にお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。



https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/506.html



産業とのつながり

火山と海の恵み 桜島は宝の島！

桜島が誇る、火山と海の恵みを生かした宝物。たとえば、桜島小みかんは、水はけが良い地質を生かし、日当たりの良い山の斜面で、錦江湾から反射する光も利用して育てられています。ほかにも、火山灰を使った陶芸や魚の灰干し、シラスを使ったガラス製品や化粧品、溶岩の焼肉プレートなど。もちろん、県庁所在地源泉数日本一の鹿児島市の温泉だって、火山の恵み。“嫌われモノ”と思われがちな火山灰をも資源にするとは、鹿児島の人はいたくましい。

嫌われモノを資源に変えた！



鹿児島市電の緑化基盤には、火山噴出物の一種であるシラスを原料とした適度な保水性と透水性があるブロックを使っています。

火山灰でおいしく！美しく！



桜島灰干し弁当

灰干しとは、魚の水分を火山灰で吸収することでくさみを取る料理法。時間をかけて熟成した魚本来の旨味が味わえると大人気のお弁当。鹿児島中央駅や鹿児島空港などで販売しています。



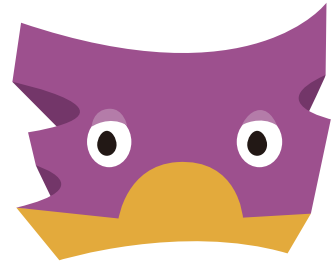
火山灰ジュエリー「tephra」

「鹿児島は空から宝石が降ってくる」というコンセプトで制作される火山灰を使ったおしゃれなアクセサリ。



火山灰の缶詰 「ハイ! どうぞ!!」

原材料名：桜島の降灰、垂水市民の苦悩
内容量：ありがたくない、空からの恵み 100cc



歴史・文化とのつながり

縄文時代から人は 火山と暮らしていた！

鹿児島市の歴史は火山なしでは語れません。桜島にある縄文時代の貝塚には、火山と共生していた跡が残っています。その後、遺跡は土石流で埋まったようですが、それでもまた桜島に人が住み続けるのは、災害よりも恵みが大きいからかもしれません。また、鹿児島市の石の文化も火山のおかげ。火山噴出物が溶結してできた溶結凝灰岩は他の石材と比べて少し柔らかく加工しやすいのです。石橋や世界文化遺産の構成資産（旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝）など、この溶結凝灰岩を使った歴史的な建物などがたくさんあります。

薩摩の城はシラス台地にあった！



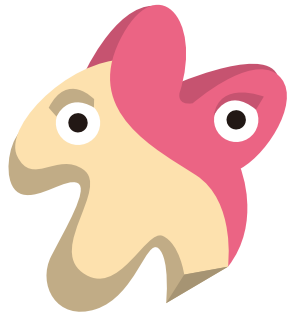
薩摩藩主・島津氏が居城とした鹿児島城は、シラス台地の城・上山城（城山）とその麓に築かれた居館からなっていました。

日本遺産 薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～



鹿児島には本城の鶴丸城跡や、県内各地の山城跡の周辺に配置された「麓」と呼ばれる外城の武家屋敷群が数多く残っています。麓は防御に適した場所につくられ、門と玄関の間に生垣を配置する等、城の中のように敵に備えた構造を持っています。「麓」の石垣や石蔵には、加工しやすい溶結凝灰岩を使用した石の文化が発展しました。

桜島・錦江湾ジオパークには、垂水麓や蒲生麓など、鹿児島を代表する美しい麓集落があります。



人とのつながり

噴火を受け入れて 火山と共に生きる！

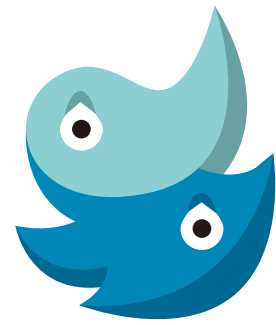
これまで人々は活火山・桜島と共に暮らしてきました。江戸時代の大噴火（安永噴火）では、災害に遭った桜島の黒神地区の住民は、故郷の桜島を望む鹿児島市の高台に移住しました。垂水市には、大正噴火の被害に遭った桜島や垂水の住民が移住して開拓した地域があります。人々の桜島への思いの深さが伝わってきます。

ハイ 灰クオリティな鹿児島のサービス！



鹿児島市の火山灰専用袋。
「灰に打ち勝つ（克つ！）」
という意味。

火山と共に生きる工夫。火山灰掃除車（ロードスイーパー）や、家庭の灰を集める降灰指定置場、降灰予報、噴火情報メールサービスなど。



海とのつながり

噴火でできた深海には 不思議がいっぱい！

錦江湾には、火山がつくった海ならではの不思議がいっぱい！水深200m以上ある深海は、約29,000年前に巨大噴火でへこんでできたもの。錦江湾奥部の始良カルテラの中には小さな海底カルテラ「若尊（わかみこ）カルテラ」があり、現在も海底で火山ガスを噴出していて、海面に上昇してくる火山ガスの泡「たぎり」がその証です。また、磯、岩礁、サンゴの海、藻場、干潟、深海などの様々な環境で多様な生物が育まれる豊かな海でもあります。湾内にはイルカや約1,000種類の魚がおり、サツマハオリムシという珍生物も生息。海底では熱水噴出孔（チムニー）やレアメタルも発見されています。

錦江湾のイルカはくいしん坊!?



イルカはかわいい顔に似合わずたくさんのエサが必要。そんなイルカが元気に飛び跳ねる錦江湾は、豊かな海ということですね。

災害遺構

～大正噴火のすさまじさを体感～

桜島・錦江湾ジオパークでは、大正噴火のときに1日で2mも埋もれた「黒神埋没鳥居」や垂水市の「牛根麓埋没鳥居」などの災害遺構や当時の状況を記した石碑などを見ることができます。活火山と共生してきた人々の歴史を知ることができる場所です。



黒神埋没鳥居



牛根麓埋没鳥居

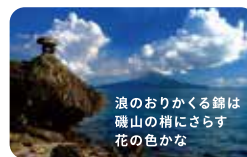


桜島爆発記念碑（桜島）



桜島爆発記念碑（始良）

錦江湾の名前の由来



浪のおりかくる錦は
磯山の梢にさらす
花の色かな

薩摩藩初代藩主島津家久が詠んだ歌で、錦江湾という名の由来になったと言われてます。この歌は、始良市の黒川岬から見た錦江湾奥部（始良カルテラ）を指すものでしたが、歌が広まるにつれ、鹿児島湾全体が錦江湾と言われるようになりました。

錦江湾の恵みを味わおう

錦江湾で育ったブリやカンパチは脂がのり、深海で育ったナミクダヒゲエビはぷりぷりと甘くて絶品です。ここでしか味わえない錦江湾の恵みをどうぞ！



味処 海の桜勤

垂水市海潟643-14 ☎0994-32-0321

11:00～14:00 火曜・年末年始休

道の駅たるみず「湯っ足り館」レストラン

垂水市牛根麓1038-1 ☎0994-34-2237

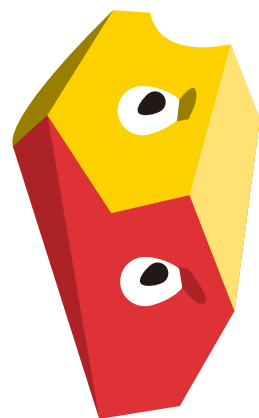
11:00～15:00 無休

道の駅たるみずはまびら「たるたるばあく」レストラン

(Farm to Table TARUMIZU)

垂水市浜平2036-6 ☎0994-32-1155

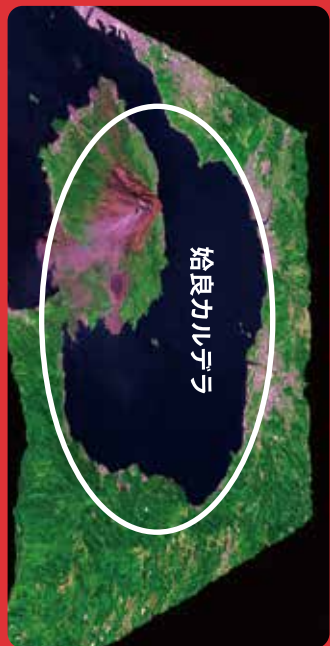
月～金曜 11:00～19:00、土日祝 11:00～20:00 不定休



地形・地質とのつながり

鹿児島の大地は、 巨大噴火でできた！

鹿児島で約29,000年前に、今の桜島の噴火の100万倍位の巨大噴火が起こりました。噴出したマグマの量は、県全土を60mの厚さで埋め尽くすほど。マグマが冷えた後の地面はへこんで錦江湾奥部にあたる始良カルデラに、鹿児島島の地には、隕石・火山灰・火山ガスが6000年以上の高温で混ざり合った火砕流がなだね込み、たった1週間で山も谷も埋め尽くして、平らな地形となりました。その後、川にけずられて残った地形が現在の鹿児島島のウラ大地。約26,000年前には、始良カルデラの南端で噴火が始まり、まず北岳がで、その後、噴火口がずれて南岳がで、2つの火山体につながる桜島をつくりました。今、私たち立ち立つ鹿児島島のウラ大地も、眼前に広がる桜島や錦江湾も、大昔の巨大噴火でつながっているのです。



錦江湾奥はカルデラだった！

錦江湾奥は大昔の巨大噴火のひびに地面がへこんでできた地形。火山で山だけではなく、へこんだ火山（カルデラ）もあるのです。

火山のパワー実感スポット！



寺山公園の展望所から始良カルデラを見下ろすと、錦江湾奥が巨大な陥没地形（カルデラ）であることがわかります。桜島の地層を削りながら、火山のパワーのすごさを感じて！

桜島の山肌をチェック！



古い北岳は、山肌が削られてボロボロ。新しい南岳の山肌は、まだまだスベスベ！昭和火口（南岳の東斜面）の周りは、新しい噴出物で覆われているので、滑りやすさを感じて！

LET'S GO! GEO WORLD



火山と海をめぐる 冒険へ出発だ！

「桜島・錦江湾ジオパーク」をめぐる冒険は、始良市、鹿児島市、垂水市のあちこちで体験することができます。火山と海があり美しい風景や観光スポットを地球の歴史や人々の暮らしとのつながりを通じて見てみると深くてももしろい世界が広がっています。さあガイドマップを手にジオの冒険の旅に出かけましょう。

SAKURAJIMA-HINKOWAN GEO PARK GUIDE MAP



